



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング
 コード番号 6149 URL <http://www.odawara-eng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理部長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	2,290	0.6	68	41.9	78	285.3	49	—
2018年12月期第1四半期	2,277	50.0	48	—	20	—	1	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 73百万円(61.0%) 2018年12月期第1四半期 45百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	8.43	—
2018年12月期第1四半期	0.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	16,996	11,992	70.6
2018年12月期	15,843	12,094	76.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 11,992百万円 2018年12月期 12,094百万円

(注) 2019年12月期より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)の適用による表示方法の変更を行ったため、2018年12月期の連結財政状態は当該変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 10円00銭 特別配当 5円00銭

2019年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	△8.1	300	△52.1	300	△54.5	200	△54.5	34.15
通期	13,500	6.2	1,200	9.7	1,220	6.2	850	1.2	145.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期 1 Q	6,392,736株	2018年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	536,544株	2018年12月期	536,544株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期 1 Q	5,856,192株	2018年12月期 1 Q	5,847,462株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産の一部に弱さもみられるものの、引き続き設備投資は増加、雇用情勢は着実に改善し、企業収益は高い水準にあるなど、全体として緩やかに回復いたしました。

一方世界経済は、中国では景気は緩やかに減速しているものの、米国では景気は着実に回復が続き、欧州では景気は一部に弱さがみられるものの緩やかに回復するなど、全体として緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開した結果、売上高は2,290百万円(前年同四半期比0.6%増)となり、利益面につきましては、営業利益は68百万円(前年同四半期比41.9%増)、経常利益は78百万円(前年同四半期比285.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円(前年同四半期比3,166.7%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、受注残高が13,012百万円と過去最高をさらに更新するなど、受注活動は自動車関連向け案件を中心に好調に推移しているものの、売上は下期案件が多いことから、売上高は1,272百万円(前年同四半期比7.0%増)、セグメント利益は184百万円(前年同四半期比46.2%増)となりました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期等が大きく異なるため、受注時期や売上時期は、四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、工作機械や産業用ロボット用軸流ファンの受注が減少し、浴室照明器具も集合住宅向けの受注が低迷、拡販を目指していた全館空調システムも振るわなかったこと等から、売上高は1,018百万円(前年同四半期比6.4%減)、セグメント損失は29百万円(前年同四半期は22百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.6%増加し、12,398百万円となりました。これは主に、仕掛品が1,554百万円、現金及び預金が742百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が791百万円、電子記録債権が288百万円、商品及び製品が182百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、4,597百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が48百万円増加したこと等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、16,996百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて37.7%増加し、4,620百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,175百万円、前受金が190百万円それぞれ増加し、受注損失引当金が218百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、383百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて33.5%増加し、5,004百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、11,992百万円となりました。これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が126百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年2月14日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,724,795	4,467,662
受取手形及び売掛金	3,417,580	2,626,390
電子記録債権	989,924	701,408
商品及び製品	931,852	749,131
仕掛品	1,435,756	2,989,941
原材料及び貯蔵品	610,090	610,649
未収還付法人税等	72,952	66,021
その他	130,557	189,155
貸倒引当金	△2,401	△1,485
流動資産合計	11,311,107	12,398,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,926,772	2,927,682
減価償却累計額	△1,834,558	△1,857,043
建物及び構築物(純額)	1,092,214	1,070,639
機械装置及び運搬具	1,444,338	1,521,761
減価償却累計額	△1,035,040	△1,063,473
機械装置及び運搬具(純額)	409,298	458,287
工具、器具及び備品	1,215,435	1,247,089
減価償却累計額	△1,078,304	△1,095,139
工具、器具及び備品(純額)	137,130	151,949
土地	1,575,464	1,575,461
建設仮勘定	395,966	399,869
有形固定資産合計	3,610,075	3,656,207
無形固定資産		
ソフトウェア	80,616	77,867
電話加入権	3,043	3,043
その他	131	127
無形固定資産合計	83,791	81,039
投資その他の資産		
投資有価証券	333,469	333,390
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	258,132	257,004
繰延税金資産	219,816	238,565
その他	26,631	31,701
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	838,049	860,662
固定資産合計	4,531,916	4,597,909
資産合計	15,843,024	16,996,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,717,259	2,892,861
未払金	301,585	290,272
未払法人税等	33,037	66,945
前受金	777,633	968,509
賞与引当金	69,107	185,708
アフターサービス引当金	71,297	71,893
受注損失引当金	218,419	—
その他	167,573	144,238
流動負債合計	3,355,913	4,620,429
固定負債		
繰延税金負債	15,796	12,226
退職給付に係る負債	170,714	171,098
資産除去債務	19,618	19,698
その他	186,544	180,886
固定負債合計	392,674	383,909
負債合計	3,748,587	5,004,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,799,593	1,799,593
利益剰余金	9,499,606	9,373,300
自己株式	△376,254	△376,254
株主資本合計	12,173,761	12,047,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,340	76,919
繰延ヘッジ損益	20,971	39,586
為替換算調整勘定	△177,637	△171,513
その他の包括利益累計額合計	△79,325	△55,008
純資産合計	12,094,436	11,992,447
負債純資産合計	15,843,024	16,996,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	2,277,304	2,290,962
売上原価	1,600,847	1,686,799
売上総利益	676,456	604,162
販売費及び一般管理費	628,061	535,494
営業利益	48,395	68,668
営業外収益		
受取利息	844	590
受取配当金	60	150
受取賃貸料	3,476	2,486
作業くず売却益	2,253	2,931
その他	4,170	4,675
営業外収益合計	10,805	10,833
営業外費用		
支払利息	—	49
為替差損	38,057	—
減価償却費	666	583
その他	7	0
営業外費用合計	38,731	634
経常利益	20,469	78,867
特別利益		
固定資産売却益	2,970	602
特別利益合計	2,970	602
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	23,439	79,469
法人税、住民税及び事業税	43,068	59,950
法人税等調整額	△21,140	△29,859
法人税等合計	21,928	30,090
四半期純利益	1,511	49,379
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,511	49,379

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,511	49,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,827	△421
繰延ヘッジ損益	13,850	18,615
為替換算調整勘定	53,242	6,123
その他の包括利益合計	44,265	24,317
四半期包括利益	45,777	73,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,777	73,696

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,189,749	1,087,554	2,277,304	—	2,277,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	157	157	△157	—
計	1,189,749	1,087,712	2,277,462	△157	2,277,304
セグメント利益	126,204	22,316	148,520	△100,124	48,395

(注)1.セグメント利益の調整額△100,124千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,272,958	1,018,003	2,290,962	—	2,290,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	211	211	△211	—
計	1,272,958	1,018,215	2,291,173	△211	2,290,962
セグメント利益 又は損失(△)	184,461	△29,568	154,892	△86,224	68,668

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△86,224千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。